



暮らしの公共交通 まるごとマップ

市では、市内の全バス路線・バス時刻表を掲載した「暮らしの公共交通まるごとマップ」を作成し、公共施設などに配架しています。
 市内をめぐる再発見の旅に出かけてみませんか？

- 【参考文献】
- ・職場の写真集(伊豆箱根鉄道 駿友会編)
 - ・大仁町制施行50周年記念写真集 わがまちのおひと(大仁町役場総務課編)
 - ・町制施行70周年記念誌 ありがとう、伊豆長岡。(伊豆長岡町編)
 - ・目で見える三島・伊豆の100年(郷土出版社/佐藤小一郎・友野博監修)
 - 【写真・資料提供】
 - ・伊豆箱根鉄道株式会社
 - ・東海自動車株式会社
 - ・静岡県地域交通課
 - ・一般社団法人 自動車検査登録情報協会

✔ メリット⑤ 自由な時間を楽しめる

自動車の運転中はよそ見は厳禁ですが、公共交通での移動中は自由に過ごすことができます。読書・仮眠・電子機器の操作など時間を有効活用して楽しめます。

✔ メリット③ 地球にやさしい

一度に多くの人が乗車できる公共交通は、自動車よりも二酸化炭素の排出量が少ないことが国土交通省の調査で明らかになっています。その量は、バスは自動車の約2分の1。電車は自動車の7分の1です。

✔ メリット① 歩いて健康増進

公共交通を利用すると、駅やバス停まで歩くので、自然と歩数が増えます。普段マイカーばかりで運動不足の人は、月に一度、公共交通の日を設けてみませんか？

みんなの交通 EVERYONE'S TRANSPORT



✔ メリット⑥ お酒を飲んでも大丈夫

自動車で出かけてお酒を飲んだ時に困るのが帰宅の手段。自動車を置いて帰ると、その間駐車料金が発生したり、また後日取りに行く手間が発生します。往復の移動手段を公共交通にしてみませんか？

✔ メリット④ 運転も任せて安心

運転手は交通事故の加害者になる可能性があります。公共交通はプロの運転手に安心して運転を任せることができます。

✔ メリット② お財布にやさしい

マイカーの維持には、車両の購入費用のほか、ガソリン代や車検、保険料、駐車場代などさまざまな費用がかかりますが、公共交通に必要な費用は主に運賃のみでお財布にやさしい移動手段です。

全国的に進む少子高齢化で、マイカー全盛時代にも、陰りがみえてきました。若者の運転免許保有者の減少、高齢者ドライバーの免許返納など個人的要素に加え、カーシェアリング(自動車の共同使用)、自転車など新しい選択肢、カーボンニュートラル(脱炭素社会)への取り組みなど、社会的要素により、時代は変わろうとしています。

6ページでもお伝えしたとおり、日本の公共交通は、営利を目的とする民間企業が経営しているため、お客さんが乗らなければ路線を維持できません。公共交通は「走っているのが当たり前」ではなく、「誰も乗らなければ形を変えていく(＝なくなっていく)」ものです。かつての渡し舟や馬車、汽車がなくなっていたのと同様に。

もし、誰もがマイカーも持たなくなつた未来に、今の電車、路線バス、タクシーがなくなっていたら、皆さんはどうやって移動するのでしょうか。そうなる前に、近い将来必要となる交通手段を守るため、日頃から公共交通を使ってみませんか？

公共交通を使うと、マイカーにはない、いろいろなメリットがあります。普段はマイカーの皆さんも、たまには路線バスや電車、タクシーを利用して出かけるなど、公共交通を上手に使う、公共交通のある未来を支えていきましょう。(2元)